

乳腺腫瘍に対して Sonazoid 造影超音波検査を臨床応用する研究

当院で2012年8月から2020年7月末までに良悪性の鑑別が困難な腫瘍、および乳癌を有する方を対象として疫学研究を行っています。

良悪の鑑別が困難な乳腺腫瘍における鑑別診断に応用します。また造影超音波検査により腫瘍の血流量を数値化し、時間変化と造影の強さを分析します。造影超音波検査により、腫瘍が良性・悪性の鑑別に応用出来るかを検討する研究です。

乳がんに対して、薬物の治療効果の判定、および乳がんの悪性度や特徴を検討します。非侵襲的な造影超音波検査が新たな乳腺診断の重要な検査方法になり得るかを検証する意義は大きいと考えております。

本研究では、全て診療録（カルテ）情報を使用して行います。

研究で使用させていただく診療情報

1. 性別、年齢などの基本的な情報
2. 血液所見や画像検査に関する情報
3. 術前治療の効果、手術所見、切除組織に関する情報

※お名前・生年月日・住所などの個人情報に関わるデータは一切使用いたしません。

試料・情報の管理責任者：

広島大学病院 乳腺外科 診療准教授 角舎 学行

研究期間：2013年8月27日～2022年7月31日

*この研究は広島大学の倫理審査委員会の審査・承認を得ております。

*該当される方で研究に関する説明を希望される方は下記にご連絡ください。

*本研究に資料を提供したくない場合はお申し出下さい。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

広島大学病院 乳腺外科

研究責任者：診療准教授 角舎 学行

担当者：病院助教 舩本 法生

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 総合研究棟

TEL: 082-257-5869 FAX: 082-256-7109

E-mail: genge@hiroshima-u.ac.jp